

平成 20 年「春季証券投資セミナー」における参加者アンケートの集計結果について

証券知識普及プロジェクト・平 20.4

証券知識普及プロジェクト(日本証券業協会、東京証券取引所グループ、大阪証券取引所、名古屋証券取引所、福岡証券取引所、札幌証券取引所、ジャスダック証券取引所、投資信託協会、名証取引参加者協会の9団体で構成)では、平成20年2月7日から3月8日までの間、平成20年「春季証券投資セミナー」を全国9地区15都市19会場で開催し、7,267名の参加があった(7,416名)。アンケートの配付枚数は7,267枚、アンケートへの回答者は5,251名で、回収率は72%であった。アンケート結果の概要は、以下のとおりである。()内は、前回(昨年)の「春季証券投資セミナー」であり、()のない設問は今回新設。以下同じ)

- 参加者は、男性が全体の74%(61%)を占めた。
- 年齢層別では、60代以上が57%(49%)を占めた。
- 職業別では、無職が41%(35%)、会社員が27%(28%)、主婦が13%(17%)であった。
- 現在、証券投資を行っている人は79%(78%)で、未経験者は15%(17%)であった。
- 証券投資を行っている人の89%が株式投資を行っている。証券会社選択の理由は「情報の質及び量」が55%(52%)、「手数料の安さ」が39%(34%)であった。
- 現在、投資を行っていない人のうち54%(70%)が、証券投資を行っていない理由として「よくわからない(知識がない)」を挙げた。また、49%(67%)の人が今後「投資について考えてみたい」と回答した。
- 証券会社に期待することは、67%(63%)が「迅速・的確な情報提供」、48%(21%)が「手数料等の取引コストの軽減」を挙げ、証券投資の理解を深める方法として78%(80%)が「講座やセミナーへの参加」を挙げた。
- 株券電子化については、対象となる株券保有者76%のうち89%が「対応済みの株券を保有している」と回答した。

(単位: 名)

イベント 地区	平成20年「春季証券投資セミナー」			最近の参加者数	
	参加者数	回答者数	回収率	平成19年 「証券投資の日」	平成19年 春季セミナー
東京(2会場)	2,330	1,707	73.3%	2,044	2,607
大阪(4会場)	1,877	1,316	70.1%	2,641	2,478
名古屋(4会場)	1,114	810	72.7%	1,091	484
北海道	375	248	66.1%	361	462
東北	178	149	83.7%	406	180
新潟	—	—	—	148	301
北陸	276	177	64.1%	476	400
中国(3会場)	537	409	76.2%	471	113
四国	230	177	77.0%	509	251
九州(2会場)	350	258	73.7%	664	140
合 計	7,267	5,251	72.3%	8,811	7,416

以 上